



アグリワークポイント AGRI WORK POINT

摘果と日焼け

果樹林産センター 青島



着果管理

生理落果が終了し、樹毎の着果量が把握できるようになってきました。着果が多すぎると小玉傾向になり果皮体質の弱いミカンになってしまいます。早期摘果を実施し、隔年結果は正に努めましょう。

また、着花の少ない樹は9月の仕上げ摘果やそれ以降の樹上選果を主体とします。今月は軽い夏季剪定（立ち枝・被さり枝の除去）、枯れ枝の除去を中心に管理しましょう。

日焼け対策

梅雨が明けると、果実は強い日差しにさらされます。日射が強くなると極早生、早生品種を中心に日焼け果の発生が心配されます。日焼け対策の薬剤として、ホワイトコートがあり、「ミカン」を対象に「日焼け軽減」の登録が追加されました。近年、日焼けが発生する園地は予防散布を検討しましょう。

病害虫防除

黒点病の防除について近年は線状降水帯の発生に伴い、1日で100mm以上の雨が降る場合があります。防除のタイミングは前回の防除から30日経過もしくは累積降雨量250mmが基準です。まとまった雨が予想される場合はアピオンEといった固着性展着剤も活用しましょう。

害虫については園地にて観察後、防除することが基本ですが、目には見えないサビダニやホコリダニの発生・被害も考慮して予防的に散布していく必要があります。

ゴマダラカミキリ成虫の発生ピークは6月下旬から7月上旬です。モスピラン顆粒水溶剤（200～400倍希釈）を主幹から株元にかけて散布することで樹皮下の卵や孵化幼虫に効果があります。園内で成虫を発見する機会が増えるので、発見次第捕殺しましょう。

対象病害虫	薬剤名	倍率	適正使用基準
黒点病	ペンコゼブ水和剤	500倍	30日 - 4回
チャノキイロアザミウマ	コテツフロアブル	4,000倍	前日 - 2回
ミカンサビダニ			
ゴマダラカミキリ	モスピラン顆粒水溶剤	200～400倍	14日 - 3回